鹿沼CC・A女王の座奪還

芳賀CC2打差、連覇逃す

ゴルフ　県女子クラブ対抗

ゴルフの第6回県女子クラブ対抗競技大会が13日、鹿沼市の鹿沼72CCで行われ、鹿沼CC・Aが232で2年ぶり4度目の優勝を飾った。快晴、微風の絶好のコンディションの中、20ゴルフ場から29チームが出場。1チーム最大4人編成で上位3人の合計スコアで争われた。

鹿沼CC・Aは鈴木郁子が76、角田里子が77、林美由樹が79と3人が70台をマークし、安定した力を発揮した。

松本典文県ゴルフ場協議会会長（中央）から優勝カップを受け取る鹿沼CC・Aの角田主将＝鹿沼72CC

第6回 栃木県女子クラブ対抗

2位の芳賀CC

連覇を狙った芳賀CCはエースの佐藤香織が76、皆川三代子が77と肉薄したが、2打及ばなかった。3位には3人編成の鹿沼CC・Bが食い込んだ。ベストグロスはAクラスが75の北原綾子（鹿沼CC・B）。Bクラスは74の野口恵（あさひケ丘）が輝いた。

【団体】▽順位 ①鹿沼CC・A（角田里子、林美由樹、鈴木郁子、松草春香）232 ②芳賀CC（皆川三代子、宇梶敦子、佐藤香織、藤平瞳）234 ③鹿沼CC・B（北原綾子、高野裕子、山田秀子）239 ④あさひケ丘CC（小林水幸、井上道子、野口恵、斎藤法子）240 ⑤那須CC（沓掛恵美子、関谷弘子、川嶋泉、渡辺逸未）244 ⑥矢板CC（熊沢悦子、森田洋子、渡辺紘子、前沢美幸）245 ⑦東松苑GCファースト（広沢みどり、八木珠恵、中石妙子、米田康代）246 ⑧宇都宮CC（猪野明子、山中恵子、河合恭子、田村麻衣子）251 ⑨NSAJ・A（小森幸恵、久我喜枝美、村山京子、前嶋直子）253 ⑩塩原CC（加藤仁美、中井明美、加藤里奈、野村しのぶ）255

【個人】▽Aクラス ①北原綾子（鹿沼CC・B）75（アウト37、イン38） ②角田里子（同・A）77（40、37） ③広沢みどり（東松苑GCファースト）77（39、38） ④皆川三代子（芳賀CC）77（39、38） ⑤小森幸恵（NSAJ・A）78（38、40） ▽Bクラス ①野口恵（あさひケ丘CC・A）74（36、38） ②鈴木郁子（鹿沼CC・A）76（40、36） ③佐藤香織（芳賀CC）76（37、39） ④渡辺紘子（矢板CC）80（41、39） ⑤前沢美幸（同）81（41、40）

※同スコア順位は大会規定による

3位の鹿沼CC・B。左はAクラスベストグロスの北原

野口恵

ハイライト

盤石布陣、チーム力の勝利　鹿沼CC・A

やはり鹿沼CC・Aは強かった。4度目となる優勝スピーチで角田主将は「エースはいません。チーム力で勝たせていただきました」と切り出した。

昨年も2チームが出場した鹿沼CC。「チーム編成上の理由で」角田がBに回った結果、芳賀CCに1打及ばず連覇を逃した。

今回は県ダブルス選手権女子で8度優勝している鈴木郁子と角田が再び組んだほか、一昨年の県知事盃クイーンズの部を制している林美由樹も加わり、盤石の布陣で臨んだ。

Bクラスが5879ヤード、Aクラスが5060ヤードと約800ヤード違うだけに「難しいコースなので、距離のないAクラスの2人に頑張ってもらう」（鈴木）と描いた青写真。その通りにAクラスの角田、林が70台。鈴木はチーム最高の76と、2打差で芳賀CCの連覇を阻止した。

ダブルボギー発進となった鈴木は「諦めなかった」。5バーディー、8ボギー、2ダブルボギーとパーがわずか3ホールの大荒れとなった林は「自分のゴルフはできなかったが、頑張った」と笑顔で振り返った。

最後に「来年もチーム力で頂点に立ちたい」と力強くマイクを握った角田。当分、鹿沼CCの時代が続きそうな勢いだった。

（井上孝男）

終盤開演、ニュービル劇場

粘る富山突き放しM6

前半、ブレックスの攻撃をニュービルが敵陣へ

りそなB1第31節は12日、富山県砺波市の同県西部体育センターで行われ、東地区首位の宇都宮ブレックスは西地区2位の富山グラウジーズと対戦した。オーター（Q）からテンポの速い攻撃を見せ高島紳司の3点シュートなどで21―19。第2Qは点を取り合う展開の中でグラント・ジェレットや高島が得点し46―41とリードして折り返した。

第3Qは鵜誠司らのアタックから得点を重ね68―64。第4Qは序盤に連続で3点シュートを許し一時逆転を許すも、終盤の勝負どころでD・J・ニュービルが得点を重ねて辛くも勝ち越した。

次戦は15日午後7時5分から、宇都宮市のブレックスアリーナ宇都宮で西地区の大阪と対戦する。

ブレックス　ジーコ・コロネル監督の話　非常に大きな勝利。（終盤に活躍したD・J・ニュービルは）ああいう場面で決めないといけないと自覚している選手。欠場選手もいる中で各選手は難しい試合に対応してくれたと思う。

ブレックス・高島紳司　点の活躍）「入りはすごく良かった。自分がフリーになったところで決め切れて勢いに乗れた。苦しい時間帯もみんなでコミュニケーションが取れていたと思う」

Bリーグ1部勝敗表（13日現在）

	勝	敗	勝率	差
▽東地区				
①ブレックス	39	13	.750	—
②群馬	36	16	.692	3.0
③千葉J	35	17	.673	4.0
④A東京	35	17	.673	4.0
⑤北海道	32	20	.615	7.0
⑥仙台	31	21	.596	8.0
⑦横浜BC	23	29	.442	16.0
⑧SR渋谷	22	30	.423	17.0
⑨越谷	17	35	.327	22.0
⑩A千葉	16	36	.308	23.0
⑪茨城	15	37	.288	24.0
⑫川崎	14	38	.269	25.0
⑬秋田	10	42	.192	29.0
▽西地区	勝	敗	勝率	差
①長崎	41	11	.788	—
②名古屋D	39	13	.750	2.0
③三河	37	15	.712	4.0
④滋賀	36	16	.692	5.0
⑤広島	31	21	.596	10.0
⑥琉球	29	23	.558	12.0
⑦三遠	27	25	.519	14.0
⑧佐賀	23	29	.442	18.0
⑨島根	21	31	.404	20.0
⑩大阪	20	32	.385	21.0
⑪京都	18	34	.346	23.0
⑫FE名古屋	17	35	.327	24.0
⑬富山（注）	12	40	.231	29.0

（注）位はリーグ規定による

バスケ Wリーグ

プレーオフ決勝第4戦　デンソー初V　高田がMVP

バスケットボール女子の京王電鉄Wリーグ・プレーオフは12日、東京・京王アリーナTOKYOで3戦先勝方式の決勝第4戦が行われ、デンソー（レギュラーシーズン2位）がトヨタ自動車（同1位）に70―51で勝ち、3勝1敗で初優勝を果たした。

両チーム最多の21点を挙げたデンソーの高田がプレーオフMVPに初選出された。4季ぶりの王座を狙ったトヨタ自動車は、勝負どころで攻撃が停滞した。

▽決勝第4戦（デンソー3勝1敗）

さひケ丘CC）は「74は大満足」と満面の笑みを浮かべた。

前日の練習で「シャンクが出て心配」だったが、3バーディーを奪うなど調子を戻した。唯一の反省点は後半の1番で「アゲンストとフォロー（の風）を間違えて」グリーンオーバーした上に、3パットしてダブルボギーをたたいたことぐらい。全体的にはショットが安定して好スコアにつながった。

昨年の県女子社会人アマで初優勝し、各大会で注目される選手となった。今年は同大会の連覇を目指し「日本女子ミッドアマに出てみたい」と意欲的に言った。

鹿沼CC・B　北原綾子（75でAクラスベストグロスに輝く）「めちゃうれしい。練習ラウンドをしなかったので無理せず、欲をかかず、チームのためにプレーしたのが幸いした」

74でベスグロ「大満足」

○…Bクラスでベストグロスに輝いた野口恵（あ

「最後の弟子」佐久間朱莉／「名captain」菅楓華／「令和の飛ばし屋」神谷そらほか
ゴルファーを
寺版・名鑑つき
・文／金明昱
春の総力大特集24ページ
どんどん老ける人と、いつまでも老けない人の
ここが老化
①老いの岐路は66歳と83歳 ケンブリ
②実践すれば老け顔しらず 大の男の
③歯磨きがヘタな人は老ける、病む、
④スマホを使えば使うほど おとなの
特別読み物
うこと
連載対談 喫茶去 ちょっとおしゃべり
秋篠宮家「皇族費が足
皇族の「お
年間数億円
タモ
徹
た男
洋介

想い出の日、大切な人へ贈る特別な下野新聞
誕生、結婚、入社、退職…人生の節目に
記念日紙面
掲載紙面をB4サイズに縮小コピーしラミネート加工。
オリジナル台紙付き。
表紙
2020年東京五輪